



「環境設計グローバル・ハブ」発足記念シンポジウムを開催

「環境設計グローバル・ハブ」は芸術工学研究院の部局内センターです。平成29年1月1日付で発足しました。

・領域横断的、総合的、創造的な環境設計のグローバル展開をめざす、研究・教育の組織。

メンバー：人社系、設計・デザイン系、造園系、建築系などの27名の研究者。

・既存の10カ国超多国間ネットワークを手段として活用し、目的としてさらに発展させます。

・研究をとおして、人間と社会の観点から、地球とくにアジア圏の環境整備に貢献します。

・教育をとおして、本学やおもにアジア圏の学生を、グローバルな（地球的に考え地域的に活動する／地域的に考え地球的に活動する）地球市民に育てます。「共創学部」との連携も可能性を感じます。

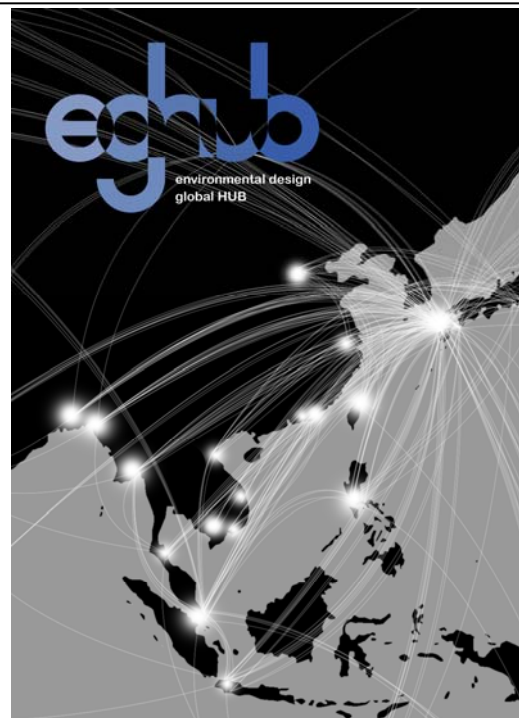
「アジアにおける歴史都市遺産の現状と保全の課題」：発足記念国際シンポジウム

1. 日時：平成29年2月18日（土）9時30分から
2. 会場：九州大学大橋キャンパス 5号館512教室（福岡市南区塩原4-9-1）
3. セッションテーマ：都市遺産としてのアジアのヴァナキュラー建築（日常的建築）：記念碑ではなく日常世界を構成する建築の価値評価軸の設定し、新たな都市遺産を創成します。
4. 主な参加大学と参加者：バンガラデシュ工科大学、プレミア大学（バンガラデシュ）／ヤンゴン工科大学（ミャンマー）／シンガポール国立大学（シンガポール）／フィリピン大学（フィリピン）／台北科技大学（台湾）／ニューサウスウェールズ大学／シドニー大学。これら大学から招聘された若手研究者12名。
5. 参加申込不要、参加費無料、使用言語は英語（通訳はつきません）

このシンポジウムはアジアの生活に根ざした遺産の価値付けを行い、当該社会の自文化に対する誇りの醸成を目指しています。



（参考図）左：アジアの日常的建築の例
右：環境設計グローバル・ハブの
ロゴとイメージ・ヴィジュアル



【お問い合わせ】芸術工学研究院附属環境設計グローバル・ハブ

電話：092-553-4445 FAX：092-553-4445

Mail：eghub2017@gmail.com



九州大学環境設計グローバルハブ・発足記念シンポジウム

アジアにおける歴史都市遺産の現状と保全の課題

Current State and Challenges of Urban Heritage in Asia

日時 2017年2月18日(土) 9:30~12:15

会場 九州大学大橋キャンパス5号館512教室

参加大学 バングラデシュ工科大学/フィリピン大学/プレミア大学/
シンガポール国立大学/台北科技大学/ヤンゴン工科大学
+環境設計グローバルハブ

お問い合わせ:

eghub2017@gmail.com

(直通) 092-553-4445